

今日からわが家もエコライフ！

地球温暖化は私たちの家庭からも始まっています。いつまでも住みよい香美市であるために、私たちの手で香美市を、地球を守りましょう。

さあ、今日からエコライフにチャレンジです！

リビングからエコライフ！		年間効果金額	年間CO ₂ 削減量
1	冷房(エアコン)の温度設定は28℃を目安にしている	730 円	11.9 kg-CO ₂
2	暖房(エアコン)の温度設定は20℃を目安にしている	1,270 円	20.8 kg-CO ₂
3	暖房(ファンヒーター)の温度設定は20℃を目安にしている	690 円	25.0 kg-CO ₂
4	冷暖房機器は不必要なつけっぱなしをしないようにしている	1,430 円	23.4 kg-CO ₂
5	白熱電球より電球型蛍光灯を使用するようにしている	2,020 円	32.9 kg-CO ₂
6	人のいない部屋の照明は、こまめに消している	580 円	9.4 kg-CO ₂
7	テレビをつけたまま他の用事をしないようにしている	980 円	16.0 kg-CO ₂
8	こたつは、敷布団と掛け布団を使用し、温度設定をこまめに調節している	1,950 円	31.9 kg-CO ₂

キッチンからエコライフ！		年間効果金額	年間CO ₂ 削減量
1	食器洗い乾燥機を使用するときは、まとめて洗い、温度調節をこまめにする	7,770 円	31.2 kg-CO ₂
2	食器洗いのお湯の温度は出来るだけ低くするようにしている	1,540 円	21.6 kg-CO ₂
3	冷蔵庫の中には物を詰め込みすぎないようにしている	1,050 円	17.2 kg-CO ₂
4	冷蔵庫は、壁から適切な間隔を開けて設置している	1,080 円	17.7 kg-CO ₂
5	冷蔵庫の扉は、開閉を少なくし、開けている時間を短くするようにしている	400 円	6.5 kg-CO ₂
6	煮物などの下ごしらえには電子レンジを活用している	1,180 円	14.7 kg-CO ₂
7	電気ポットは長時間使わないときには、コンセントからプラグを抜くようにしている	2,580 円	42.1 kg-CO ₂

お風呂・洗面所からエコライフ！		年間効果金額	年間CO ₂ 削減量
1	洗濯物が少ないときは、2～3日分をまとめて洗濯している	1,740 円	19.1 kg-CO ₂
2	お風呂は、間隔を空けずに入るようにして、追い焚きをしないようにしている	6,870 円	93.8 kg-CO ₂
3	シャワーは、お湯を流しっ放しにしないようにしている	2,650 円	35.8 kg-CO ₂
4	温水洗浄便座は温度を控えめに調節し、使わない時はふたを閉めるようにしている	1,800 円	29.4 kg-CO ₂

車の運転もエコライフ！		年間効果金額	年間CO ₂ 削減量
1	アイドリングは、できる限りしないようにしている	2,000 円	37.7 kg-CO ₂
2	無駄な荷物を積んだまま運転しないようにしている	180 円	3.5 kg-CO ₂
3	経済速度を心掛け、急発進・急加速をしないようにしている	3,440 円	65.0 kg-CO ₂
4	タイヤの空気圧は、適正に保つ(給油時等に調整)ようにしている	1,850 円	34.8 kg-CO ₂
5	外出時は、できるだけ車に乗らず、電車・バスなど公共交通機関を利用するようにしている	7,690 円	145.1 kg-CO ₂

その他エコライフのために！		年間効果金額	年間CO ₂ 削減量
1	電気製品を使わないときは、コンセントからプラグを抜き、待機時消費電力を少なくしている	3,600 円	58.8 kg-CO ₂
2	電気製品(エアコン、冷蔵庫、テレビ、ビデオ、洗濯機等)などを買う時は、省エネルギータイプのものを選んでいく。	9,460 円	154.4 kg-CO ₂
3	ライフサイクルアセスメントに着目し、農産物等の購入には「地産地消」を心掛けている	— 円	— kg-CO ₂

※効果金額およびCO₂削減量はあくまで目安です。

香美市

地球温暖化対策

地域推進計画

概要版



高知県 香美市役所

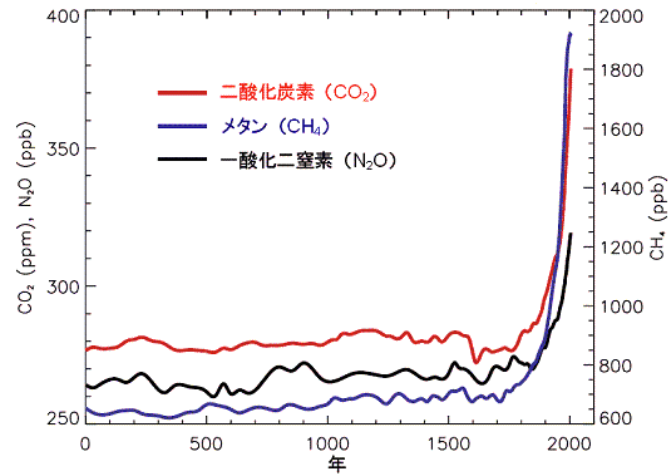
〒782-8501 高知県香美市土佐山田町宝町 1-2-1
 TEL 0887-53-3111 FAX 0887-57-4585
 URL <http://www.city.kami.kochi.jp/>

高知県 香美市

1 地球温暖化問題

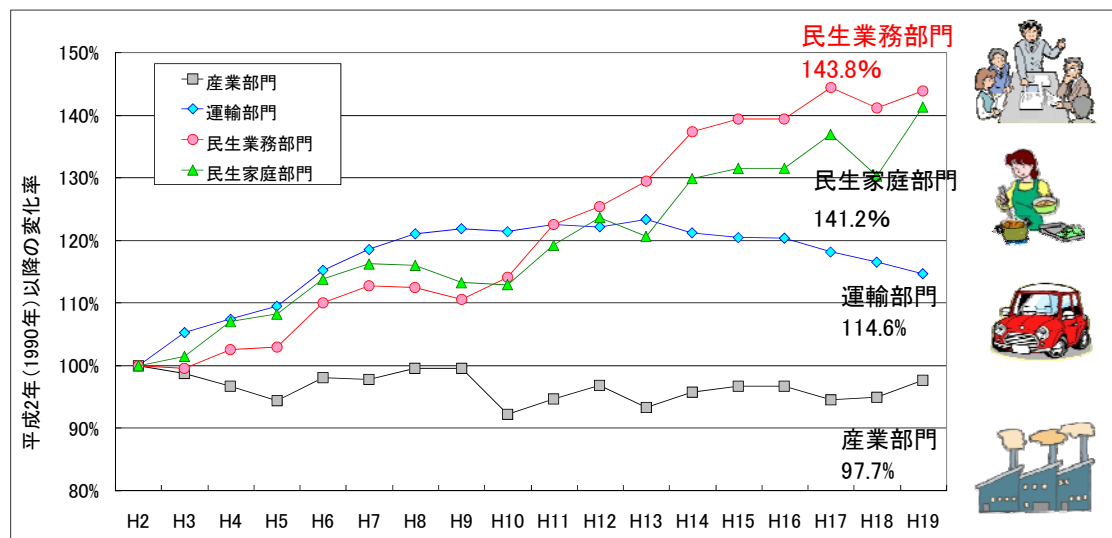
地球温暖化に関する科学的知見

- 地球温暖化は人為起源の温室効果ガスの増加が原因とほぼ断定
- 最近 50 年間の世界平均気温変化は、過去 100 年間の世界平均気温変化(0.74℃/100年)のほぼ 2 倍にあたる 1.3℃/100年に及ぶ
- 気候変動による悪影響が危険なレベルを超えないためには、温室効果ガスの削減を直ちに開始し、排出量を現在の半分に以下に削減しなければならない



【資料】IPCC 第 4 次評価報告書 気象庁 Web ページ

一般家庭からの温室効果ガスの排出も地球温暖化の原因に！



平成2年から現在まで、日本国内では一般家庭を含む民生家庭部門の排出量の伸びが目立つ。

運輸部門の排出量の伸びも自家用車の増加を主要因としており、一般家庭での排出量が最も増加していると推測される。

私たち一人ひとりの日常生活の見直しが必要！

2 香美市の地球温暖化対策への取り組み

『香美市地球温暖化対策地域推進計画』を策定

市が持続的に発展しつつ環境との共生を図る上で、市民や事業者と協働で省エネルギー化や低炭素社会の実現等に向けて取り組むためのマスタープランとすることを旨とする。

計画の基本的事項

(1) 計画の位置付け

- 「地球温暖化対策の推進に関する法律」第 20 条の規定に基づく策定

地球温暖化対策の推進に関する法律
(平成 10 年 10 月制定、法律第 117 号) 最終改正：平成 20 年 6 月 13 日法律第 67 号

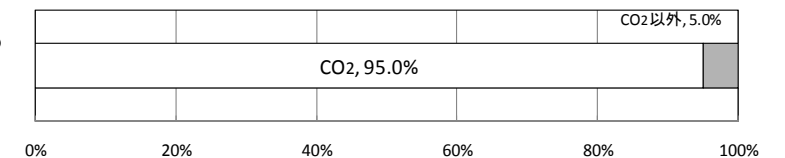
(国及び地方公共団体の施策)

第 20 条 国は、温室効果ガスの排出の抑制等のための技術に関する知見及びこの法律の規定により報告された温室効果ガスの排出量に関する情報その他の情報を活用し、地方公共団体と連携を図りつつ、温室効果ガスの排出の抑制等のために必要な施策を総合的かつ効果的に推進するように努めるものとする。

2 都道府県及び市町村は、京都議定書目標達成計画を勘案し、その区域の自然的社会的条件に応じて、温室効果ガスの排出の抑制等のための総合的かつ計画的な施策を策定し、及び実施するように努めるものとする。

(2) 把握対象とする温室効果ガス：CO2 (二酸化炭素)

- 日本が排出するガス全体の約 95% を占める CO2 を対象



【資料】温室効果ガスインベントリオフィス

(3) 計画の基準年・期間・目標年度

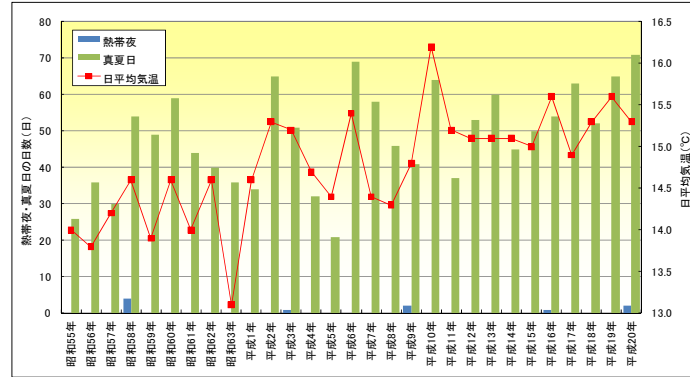
- 基準年：1990 年度 (京都議定書の基準年との整合を図る)
- 目標年度
 - 短期目標：2012 年度 (京都議定書第一約束期間の最終年度)
 - 中期目標：2020 年度 (我が国の中期目標との整合を図る)
 - 長期目標：2050 年度 (我が国の長期目標との整合を図る)

(4) 計画の対象範囲：香美市域全体

3 香美市の地域特性

自然的・社会的特性

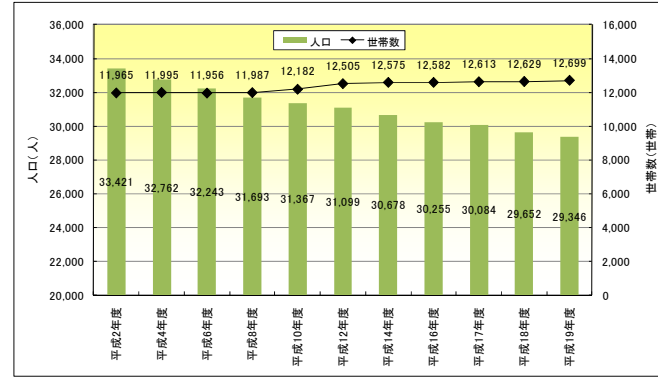
(1) 気候



【資料】気象庁

- ▷ 日平均気温が上昇
- ▷ 真夏日の日数が増加
- ▷ 熱帯夜の発生頻度が上昇

(2) 人口、世帯数（住民基本台帳）



【資料】市民課

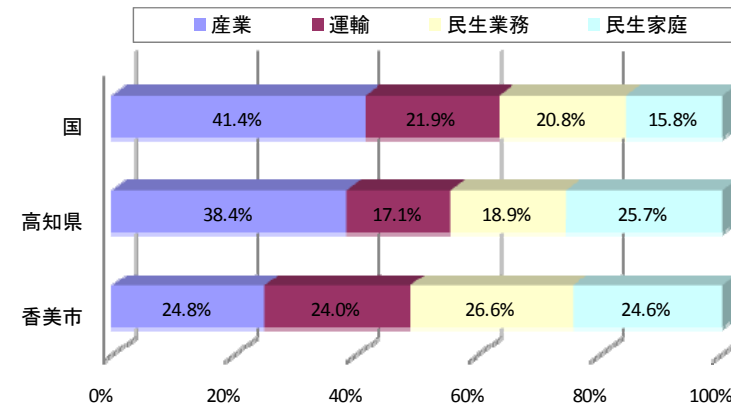
- ▷ 世帯数は増加傾向で推移
- ▷ 人口は近年減少傾向を示している
- ▷ 1世帯あたり2.31人（平成19年度）

香美市のCO2排出状況

□ 総排出量 : 208,286 ト

<排出の内訳>

- ▷ 産業部門 : 51,674 ト
- ▷ 運輸部門 : 49,989 ト
- ▷ 民生業務部門 : 55,480 ト
- ▷ 民生家庭部門 : 51,143 ト



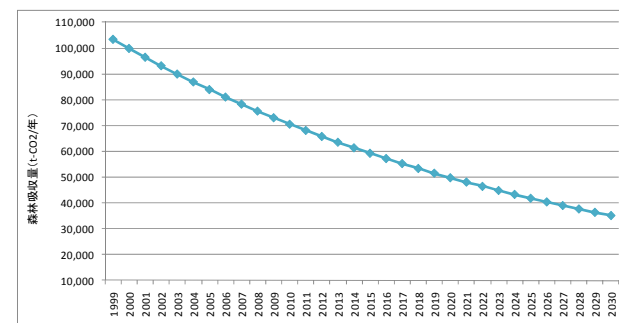
□ 各部門の排出レベルがほぼ同等。

□ 国・高知県との比較では、香美市は一般家庭を含む民生部門の構成比の高さが目立っている。

森林によるCO2吸収量

□ 市域の87.4%が山林であり、森林資源の豊富さが本市の特徴。

□ 間伐などの十分な森林整備が行われておらず、今後はCO2吸収源としての機能の衰退が予測される。



4 CO2削減のための対策・施策

計画の基本理念

基本方針

1. 未来のために みんなでエコライフづくり

— 市民・事業者の活動支援 —

市民に向けた地球温暖化対策に関する取組の普及啓発を図ることで、市民一人ひとりの取組を職場や地域に波及させるべく草の根運動を実施します。

2. 香美市を支えるエコエネルギーづくり

— 再生可能エネルギーの導入 —

日照時間が長い本市の特性から、太陽光発電の活用が有望視される。「太陽光発電の新たな買取制度」やシステム導入補助等に関する周知徹底を行うことで、今後の普及拡大を目指す。

3. 自然と共存できるエコ環境づくり

— 地域環境の整備及び改善 —

豊富な森林資源に対し、CO2吸収源としての機能を回復・拡大させるべく、市内外事業者等とのカーボンオフセット制度による間伐等の計画的な森林整備の推進を目指す。

4. 香美市の資源でエコまちづくり

— 循環型社会の構築 —

市域の資源の有効活用を目指し、ごみの分別・リサイクルを手始めに循環型社会の構築を目指す。

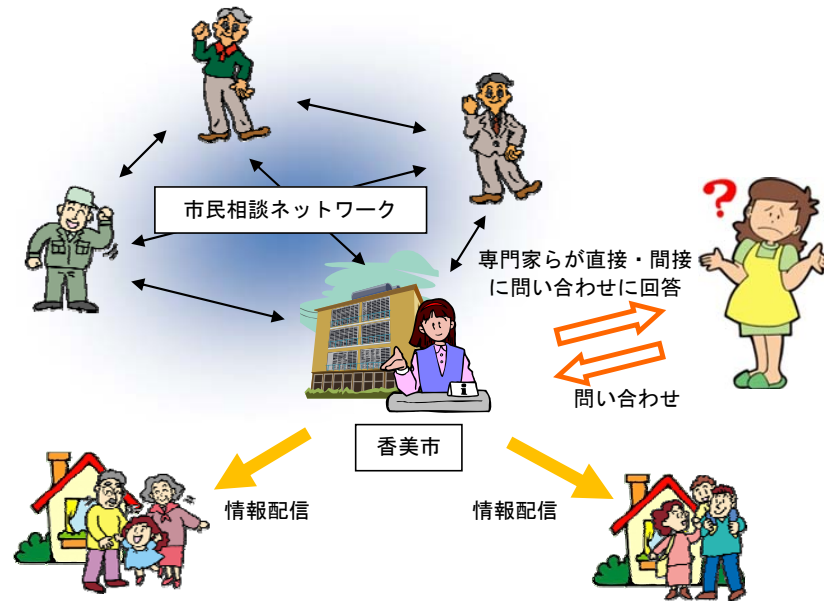
豊かな自然を育む
未来にやさしいエコスタイル

温室効果ガス削減重点施策

市民の意識啓発の根運動

市民に向けた地球温暖化対策に関する取組の普及啓発を図ることで、市民一人ひとりの取組を職場や地域に波及させるべく草の根運動を実施する。

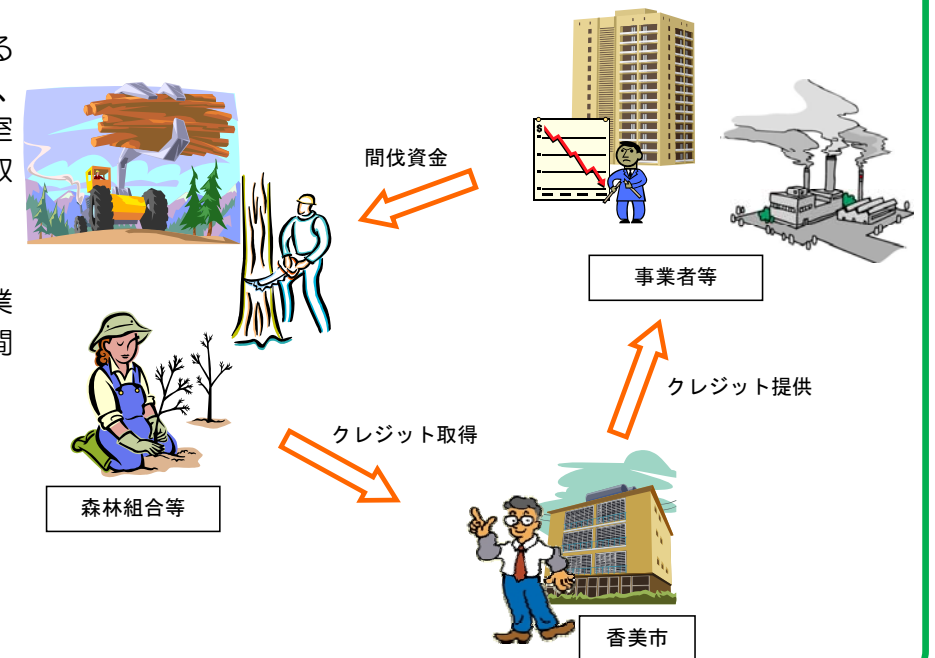
- 市民相談窓口の開設の検討
- NPO、各種団体、専門家等との市民相談ネットワーク構築の検討
- 家庭や職場での取組内容や効果等の情報配信を高頻度に行う
- 情報配信媒体の多様化導入目標：省エネ行動や買い替え効果等の情報配信



CO2 吸収源対策（森林吸収）の推進

年々減少しつつあることが予測される森林のCO2吸収量を拡大すべく、計画的な森林整備の実施を目指す。なお、本市の森林をカーボンオフセットの対象として、温室効果ガス排出クレジット取引の導入について検討する。

- カーボンオフセットによる森林整備を推進することで、市内外の事業者等との温室効果ガス排出クレジット取引を目指す
- 林道（作業道）の整備や林業機械の充実を図ることで間伐コストの低減を目指す

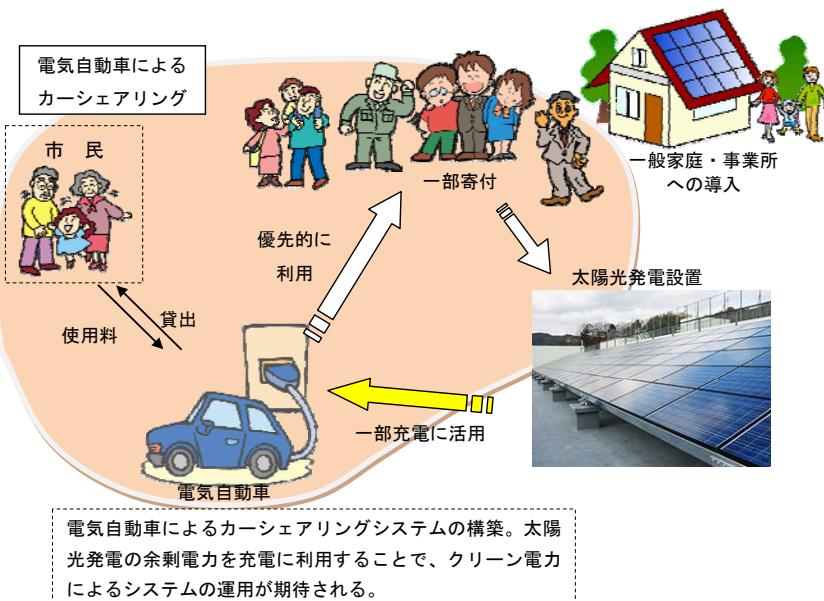


施策の推進により、2020年度排出レベルを1990年度比△19.7%を目指します！

太陽光発電の導入

太陽光発電に関する情報配信や普及啓発等により、設置件数を2020年度までに現在の10倍まで拡大することを目指す。

- 「太陽光発電の新たな買取制度」（従前の約2倍の単価：住宅用で約48円/kWh）の周知徹底
- 補助金に関する周知徹底



ごみの分別・リサイクルの推進

ごみ処理には、廃プラスチック焼却に伴うCO2の排出、含水率の高い生ごみの焼却に大量の化石燃料が投入される等、温室効果ガスの排出に多大な影響を及ぼす。分別・リサイクルによるごみの減量化、生ごみ量の低減や生ごみ中の水分量の低減等による温室効果ガス排出量の低減を目指す。

- 分別・リサイクルの徹底を市民に呼び掛ける
- 生ごみのコンポスト化や乾燥処理などを市民に呼び掛ける
- コンポストや生ごみ処理機への補助制度を継続する

